



# 愛知県の自動運転に係る取組について

愛知県次世代産業室  
デジタル戦略調整グループ





## 次世代産業の振興

- ・自動車産業の振興



## 地域諸課題の解決

- ・高齢者等の移動支援
- ・交通不便地における移動手段の確保
- ・交通事故の減少

# 自動運転実証実験の実証地域

社会実装に向けた取組をさらに深化させ、交通事業者等が実運行において再現可能なビジネスモデルの構築を目指し実証実験を実施



【名古屋市】  
名古屋駅～鶴舞付近

【長久手市】  
愛・地球博記念公園

【常滑市】  
中部国際空港島及び周辺地域

# 自動運転実証実験 ①中部国際空港周辺 (2022年度実績)

テーマ：磁気マーカシステム・ビッグデータを活用した安心・安全で利便性の高い運行



## ○パークアンドライドルート(約10.4km/往復)



小型バス



EVバス

- ・対岸部にマイカーを駐車し、バスで中部国際空港へ移動することを想定したルート
- ・磁気マーカを活用した一般の自動車専用道路での走行  
⇒全国初の取組

## ○市街地ルート(約7.5km/往復)



大型バス

- ・商業施設・集客スポットの周遊を想定したルート



## 2023年度実証実験

- ・一般客向けの2か月にわたる定期運行
- ・対候性(雨、風、雪)検証
- ・右左折や停車車両回避自動化、信号認識の逆光対策

# 自動運転実証実験 ② 愛・地球博記念公園 (2022年度実績)

テーマ：園内バスルートでの自動運転バスによる運行

広さ 約156.8万m<sup>2</sup>  
園内にジブリパーク  
エリアも点在

## ○園内西ルート

約2.2km/1周



## ○園内管理道路ルート

約3.2km/往復  
● 折り返し地点



大型バス

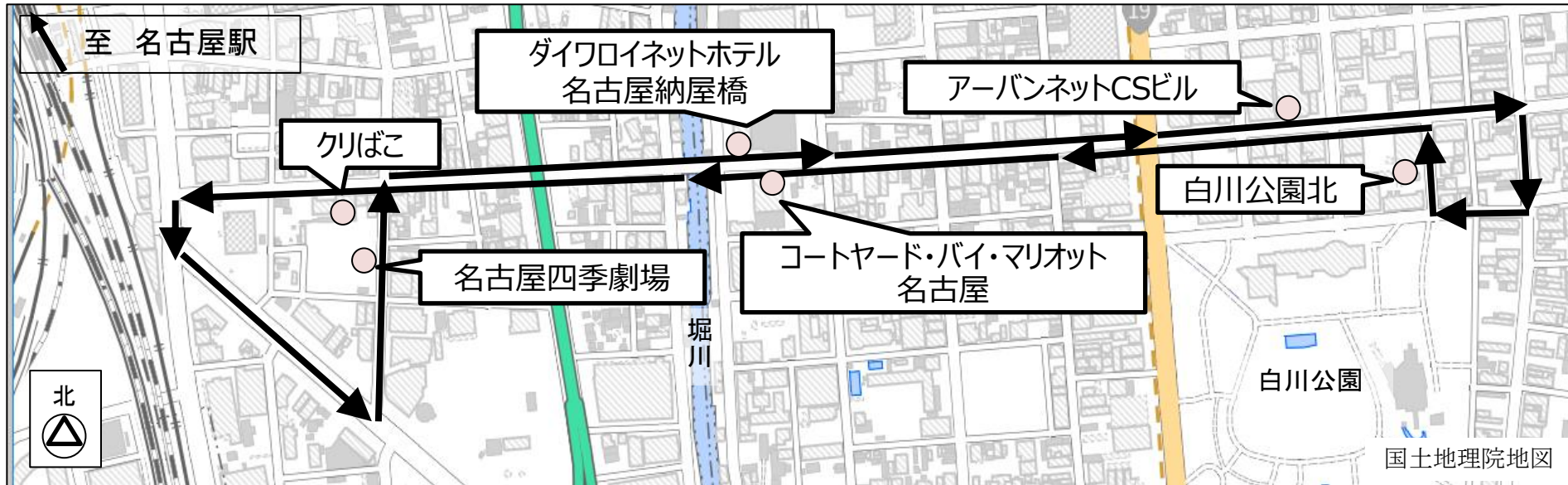
- ・園内バスと同型の大型バス(実証時着座15人)を使って運行
- ・AI映像解析技術を活用し、バスの接近を路側に設置したスピーカーから歩行者へ通知(1か所)
- ・デジタル空間上においてAIを活用し、自動運転バスと歩行者の動きをシミュレーション ⇒全国初の取組

### 2023年度実証実験

- ・ 無人自動走行を見据えた走行性能向上 (自然落下物回避、起伏の影響検証)
- ・ 遠隔監視システムの構築

# 自動運転実証実験 ③名古屋市内 (2022年度実績)

テーマ：イノベーション創出に向けた自動運転車の活用



アルマ[自動運転用電気自動車]



投影イメージ

- ・名駅南～栄南地区を東西に結ぶ約3.6kmを走行
- ・特殊フィルムにより窓ガラスをディスプレイ化し、「動く会議室」をコンセプトとした、移動時間に会議やプレゼンテーションが可能な車室空間の検証

## 2023年度実証実験

- ・幹線道路の交通の流れに沿ったスムーズな自動走行(自治体初)  
(セダン型、時速60キロ)

STATION Ai : 2024年10月に完成予定のスタートアップの創出・育成・展開を図るための中核支援施設

# 2023年度実証実験

6月12日(月)愛知県記者発表

以下の3地域（常滑市、長久手市、名古屋市）において実施

モデル類型 <sup>※1</sup>	ショーケース <sup>※2</sup>	集客施設	都心
	常滑市	長久手市	名古屋市
実証地域等 (予定)	イオンモール常滑～ 中部国際空港(中部国際空 港連絡道路含む)	モリコロパークの外周園路 (愛・地球博記念公園)	名古屋駅付近とイオンタウ ン千種を結ぶ若宮大通を中 心としたルート
	公道	閉鎖空間	公道
実証テーマ	一般客向けの定期運行	将来の無人自動走行に向け た検証	都心の道路環境に対応し たスムーズな自動走行
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一般客向けに2か月に わたり運行</li> <li>・イオンモール常滑～空港 間(2022年度実証ルート) で、毎週日曜日に運行の シャトルバスのダイヤに 自動運転バス(無料)を組 み込み定期運行を検証</li> <li>○小型バス車両の自動走 行性能の向上</li> <li>・停車車両の自動回避、右左 折時の自動化、信号認識 の逆光対策を検証</li> <li>○長期間の運行による風 雪等への対応</li> <li>・主に橋の上での横風、雨、 雪の耐候性を検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外周園路の自然環境等 に対応した自動走行技 術の検証</li> <li>・枝等の自然落下物、停車中 の管理用車両等の自動回 避、起伏のある経路での 自動走行を検証</li> <li>○無人自動走行に向けた 遠隔監視体制の構築</li> <li>・将来の無人走行を想定し た車内の乗客と遠隔監視 席との円滑な音声、画像 の通信を検証</li> <li>・車内等での緊急対応時の オペレーションを検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○名古屋駅と STATION Ai (鶴舞)を自動運転車で 結ぶモビリティサービ スへつなげる。</li> <li>○幹線道路の車速に対応 した自動走行</li> <li>・幹線道路において交通の 流れに沿った運行を検証</li> <li>○交通量の多い中での右 左折等の自動化</li> <li>・停車車両の回避、右左 折、車線変更等の自動化 を検証</li> </ul>

# 2023年度実証実験

6月12日(月)愛知県記者発表

	実証地域等	車両	イメージ	説明
ショーケース	イオンモール常滑 中部国際空港	小型バス車両 (1台)		<ul style="list-style-type: none"> <li>小型バス「ポンチョ（日野自動車）」をベースとした車両</li> <li>自動運転システムの特徴               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 3Dマップ方式<sup>※5</sup></li> <li>- GNSS方式<sup>※6</sup></li> <li>- 磁気マーカシステム「GMP S」<sup>※7</sup></li> </ul> </li> </ul>
集客施設	モリコロパーク	小型バス車両 (1台)		<ul style="list-style-type: none"> <li>小型EVバス「GSM8（タジマモーターコーポレーション）」をベースとした車両</li> <li>自動運転システムの特徴               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 3Dマップ方式</li> </ul> </li> </ul>
都心	名古屋駅前近 イオンタウン千種	セダン型車両 (1台)	調整中	<ul style="list-style-type: none"> <li>車両調整中</li> <li>自動運転システムの特徴               <ul style="list-style-type: none"> <li>- カメラシステム方式<sup>※8</sup></li> </ul> </li> </ul>



# あいち自動運転推進コンソーシアム [2017年10月~]

## □ 目的

- (1) 企業・大学等と市町村との**マッチング**
  - (2) **社会的受容性の醸成**
  - (3) **新たな事業、ビジネスモデルを創出**
- 社会実装の実現**

## □ 会員（2023年8月末現在）

会 員：**133**機関

(自治体:37機関 企業:88機関  
大学:4機関 関係団体:4機関)

学識者: 5名

## □ 事業内容

実証実験 **10**件 相談 **約80**件(2022年度)

自動運転の  
実証実験  
支援

産学行政の  
マッチング

あいち自動運転  
ワンストップ  
センター

先進事例の  
情報共有

新事業・ビジネスモデル  
創出に向けた  
調査・研究

### 調整段階

電話・窓口  
相談受付

実施者・市町村  
マッチング

関係機関  
調整・手続

### 実施段階

国等関係者  
事前連絡

関係地域  
周知・助言